

令和3年度

一人一台端末を活用した学力向上を目指した授業実践について

白岡市教育委員会 白岡市立南小学校

1 本校の概要

本校は、JR白岡駅周辺を学区とし、全校児童708名（通常学級21、特別支援学級5）の大規模校である。児童の学力は比較的高く、保護者の学校に対する関心も高い。しかし、児童の全体的な傾向として「指示がないと動くことができない。」「自ら進んで学習や生活に取り組むことができない。」などの課題が見られる。

そこで今年度GIGAスクール構想に伴い、一人一台のタブレット端末配付を機にICTを積極的に活用し、児童の主体性を育む取組を実践している。

2 学力向上を目指したICTの効果的な取組

(1) 各教科での主な取組

生活科（1・2年生）



1年生の生活科では、「あさがお」を観察する際、タブレットで花や葉の様子を撮影し、観察のまとめに活用したり、画像を拡大し、より細かいところまで観察を深めたりした。画像を保存することにより、復習や振り返りにも活用でき、成果が高まっている。

また、2年生のおもちゃ作りでは、動画ソフトを活用し、動画を見ながらおもちゃ作りを行っている。細かいところまで説明を聞いたり、見たりすることができ、自分のペースで作業を行うことができるので、子ども達は集中しながら安心しておもちゃ作りを行うことができた。

外国語（活動）（全学年）



外国語（外国語活動）の学習では、昨年度まで単語やイラストなどは紙だったが、今年度は、単語カードやイラストをタブレットで提示し、活用している。

また、タブレットに送信した考えや意見を大型テレビと接続し、全児童でそれらの情報を共有している。自分の考えを他の子ども達に認めてもらえる喜びを感じ、主体的に学習に取り組む児童が増えている。

体育（全学年）



体育のとび箱運動では、タブレットで自分の試技を撮影し、動きを確認しながら練習に取り組んでいる。また、動画を友達同士で見合いながらお互いにアドバイスをしあう場面も多く見られた。

全教科（調べ学習）



1年生から積極的にタブレット端末を活用した学習活動を取り入れている。特に調べ学習や発表の場面では、子ども達が使い方にも慣れ、自主的に学習に取り組んでいる様子が伺える。

(2) オンライン学習の充実

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、分散登校となった時期に本校では、オンライン学習に積極的に取り組んだ。また、校外学習の実施が難しい場合は、見学場所の協力を得ながらオンライン社会科見学を行った学年（5年生）もある。



3 成果と課題

【成果】

- タブレット端末を積極的に活用することにより、子ども達の学習に対する意欲が高まり、自主的に活動する場面が多くなった。
- 意見を共有するアプリやプレゼンソフトなどを有効に活用することにより、子ども同士の意見交流が活発になった。
- タブレット端末を持ち帰らせることにより、活用の幅が広がっている。保護者の関心も高まり、家族一緒に活用しているという意見も多く聞かれる。

【課題】

- タブレット端末を活用することに重点があたり、学習の深まりには、課題が残る。
- 教職員の活用スキルに差が出てしまっているため、引き続き教職員研修を充実させる必要がある。

